

# 衆議院農林水産委員会ニュース

【第200回国会】令和元年11月20日（水）、第8回の委員会が開かれました。

1 CSF（豚コレラ）及びASF（アフリカ豚コレラ）の名称変更について、江藤農林水産大臣から発言がありました。

2 肥料取締法の一部を改正する法律案（内閣提出第6号）

- ・江藤農林水産大臣、伊東農林水産副大臣、河野農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。  
（賛成－自民、立国社、公明、共産、維新）
- ・武部新君外4名（自民、立国社、公明、共産、維新）から提出された附帯決議案について、青山大人君（立国社）から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを付することに決しました。  
（賛成－自民、立国社、公明、共産、維新）  
（質疑者）池田道孝君（自民）、濱村進君（公明）、大串博志君（立国社）、青山大人君（立国社）、佐藤公治君（立国社）、田村貴昭君（共産）、森夏枝君（維新）

（質疑者及び主な質疑事項）

## 池田道孝君（自民）

（1） 台風被害関係

- ア 稲わらの処理の在り方及び支援策
- イ 稲わらの堆肥としての活用の見込み
- ウ 土砂等が流入した農地の復旧支援策

（2） 法律案関係

- ア 法律の題名を改める理由
- イ 鶏ふん等の堆肥と普通肥料との配合を認める理由
- ウ 悪臭等の問題を抱える家畜排せつ物の処理についての全国的な状況
- エ 牛ふん堆肥の高品質化の方策
- オ 海外と比較した場合の国内の肥料の価格及び銘柄数の状況
- カ 効果に即した適正な肥料価格の在り方

## 濱村進君（公明）

法律案関係

- ア 肥料業界の構造の現状とあるべき姿についての農林水産省の認識
- イ 農業競争力強化支援法に基づく事業再編計画の認定を受けた肥料業者が1業者のみの理由
- ウ 堆肥の投入量が減少している理由及び堆肥の活用推進策
- エ 化学肥料中心の施肥及び堆肥の投入量減少による土壌への影響
- オ 畜産農家の負担軽減のために肥料業者等が家畜排せつ物の堆肥化を行う必要性
- カ 堆肥のペレット化の取組主体及び支援の在り方

## 大串博志君（立国社）

（1） 桜を見る会関係

- ア 農林水産省における推薦者数、推薦者の属性及び推薦者名簿の保管状況
  - イ 推薦者名簿のうち政治家等からの推薦者の有無
  - ウ 保存されている推薦者名簿の公開の可否
  - エ 総理大臣補佐官又は衆議院議員としての推薦者の有無及び打診の有無
- (2) 大雨被害関係
- ア 本年の台風第 19 号以外の農業被害に対しても台風第 19 号と同等の支援策を講じる必要性
  - イ 佐賀県における作況悪化を含めた被害に対して特別な支援策を講じる必要性
- (3) 諫早湾干拓問題については裁判によらずに政府が適切な説明をした上で開門を前提に議論していくべきという主張に対する農林水産大臣の見解
- (4) 法律案関係
- ア 法律案により肥料の原料として産業副産物の利用が促進されるとする理由
  - イ 利用促進を図る産業副産物として汚泥系の副産物が含まれることの確認
  - ウ 原料の規格を設けることにより汚泥系の副産物の利用が拡大されるとする理由
  - エ 産業副産物の使用による肥料に係るコスト削減という法律案のメリットを十分生かし、かつ有害物質の混入等が生じないような十分な対応を取ることにについての農林水産大臣の決意

#### 青山大人君（立国社）

- (1) CSF 及び ASF 関係
- ア ワクチン接種推奨地域以外でワクチン接種を要望する県への対応
  - イ ワクチン接種推奨地域以外でワクチン接種を要望する県の数
  - ウ ワクチン接種を要望する県をワクチン接種推奨地域に設定しない理由
  - エ 十分な水際対策を講じるために全国で必要となる検疫探知犬の頭数
  - オ 他国で養成された検疫探知犬を我が国に優先的に配備することの可否
- (2) 茨城県におけるイノシシの出荷制限を解除する必要性
- (3) 法律案関係
- ア 普通肥料と特殊肥料を配合した肥料の生産及び輸入を可能とすることの意義、背景及び効果
  - イ 普通肥料と特殊肥料の混合肥料の輸入を可能とすることによる国内の土壌や国民の健康への影響
  - ウ 家畜ふん堆肥化施設や肥料工場における悪臭、汚水処理又は爆発事故への対応策
  - エ 国による堆肥の流通促進及び活用のための情報共有に関する支援策

#### 佐藤公治君（立国社）

- (1) 台風被害関係
- ア 農地の被害状況
  - イ 土壌被害の状況
  - ウ 土壌被害に関する今後の調査及び対策
  - エ 昨年西日本豪雨における土壌被害対策の有無
  - オ 土壌被害対策についての農林水産大臣の見解
  - カ 災害対策の丁寧な周知の必要性
- (2) 法律案関係
- ア 法律の題名を変更するに至った経緯
  - イ 食料・農業・農村基本法の理念と本法律案の関係性
  - ウ 本法律案の地域政策としての効果についての農林水産大臣の見解
  - エ 地力増進を図るための新たな農業資材の現場への普及及び指導方法についての農林水産大臣の見解

- オ 地力の低下及び土壌バランスの悪化の状況及び原因についての農林水産大臣の見解
- カ 地力増進法の性格
- キ これまでの土壌の調査研究の実態
- ク 国家プロジェクトとして地力増進を行うことについての農林水産大臣の所感
- ケ 地力増進が実現できない理由についての農林水産大臣の見解

**田村貴昭君（共産）**

(1) 桜を見る会関係

- ア 農林水産省の推薦の基準
- イ 大臣、副大臣及び大臣政務官による推薦の有無
- ウ 農林水産大臣としての所感

(2) 法律案関係

- ア 今後活用の拡大が期待される産業副産物の種類
- イ 公定規格の集約の方向性及び具体例
- ウ 肥料の審査方法及び安全性の担保についての農林水産省の見解
- エ 農薬が残留した堆肥による被害防止のための規制の在り方
- オ 独立行政法人農林水産消費安全技術センター（FAMIC）における肥料関係の職員体制並びに同組織による登録肥料に係る立入検査件数及び立入検査により発覚した違反件数
- カ 独立行政法人農林水産消費安全技術センター（FAMIC）の体制強化の必要性についての農林水産大臣の見解
- キ 本法律案による地力増進の効果についての農林水産大臣の見解

**森夏枝君（維新）**

法律案関係

- ア 本法律案提出の背景となる課題及びこの時期に提出した理由
- イ 堆肥と化学肥料の配合について法律で制限してきた理由及び配合による安全性の問題の有無
- ウ 本法律案に伴う規制強化による農林水産省の権限強化についての同省の見解
- エ 農薬開発の現状及び肥料生産コスト低減のための方策
- オ 帳簿への原料等の記載の義務化と安全性確保の関係性
- カ 一部肥料の登録制から届出制への移行による安全及び品質への影響
- キ 本法律案に対する農林水産大臣の思い